

II アンケート分析

A 「一般回答分」について

1 総括（全体）分析

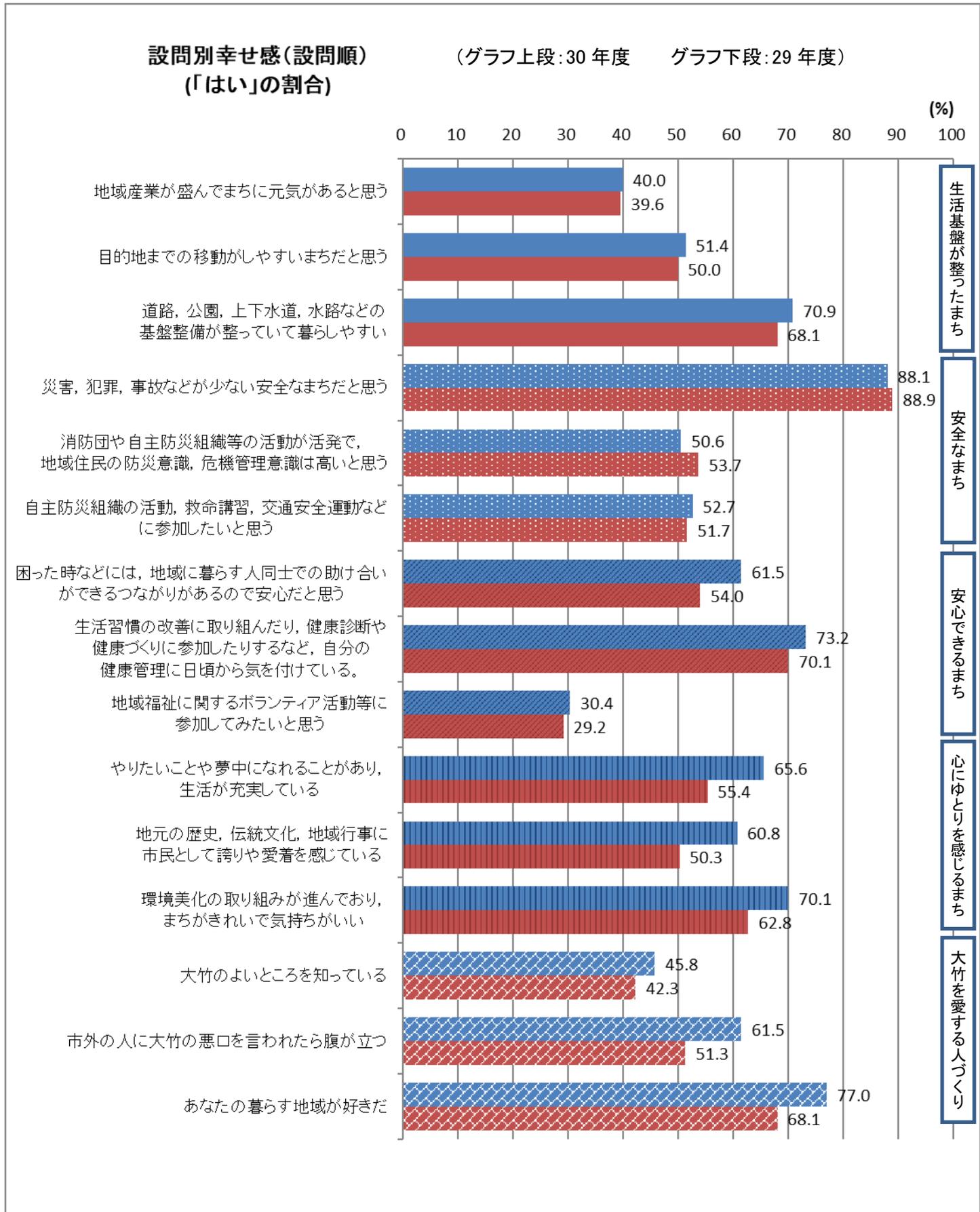
単純集計結果（問・項目・設問別幸せ感）

問番号 と項目	設 問	H30						H29						全項目 での 「はい」 の順位 変動		
		回答数(人)			設問の 「はい」		項目の 「はい」		設問の 「はい」		項目の 「はい」					
		は い	い い え	無 回 答	割 合 (%)	順 位	割 合 (%)	順 位	割 合 (%)	順 位	割 合 (%)	順 位				
問 1	生活基盤 が整った まち	地域産業が盛んでまちに元 気があると思う	158	218	19	40.0	14	54.1	5	39.6	14	52.6	4	↘		
		目的地までの移動がしやす いまちだと思う	203	184	8	51.4	11			50.0	12					
		道路、公園、上下水道、水 路などの基盤整備が整っ ていて暮らしやすい	280	104	11	70.9	4			68.1	3					
	安 全 な ま ち	災害、犯罪、事故などが少 ない安全なまちだと思う	348	40	7	88.1	1	63.8	2	88.9	1	64.8	1			
		消防団や自主防災組織等 の活動が活発で、地域住 民の防災意識、危機管理 意識は高いと思う	200	175	20	50.6	12			53.7	8					
		自主防災組織の活動、救 命講習、交通安全運動な どに参加したいと思う	208	174	13	52.7	10			51.7	9					
	安 ま き 心 を ち か か る	困った時などには、地域に 暮らす人同士での助け合 いができるつながりがある ので安心だと思う	243	133	19	61.5	7	55.0	4	54.0	7	51.1	5		↗	
		生活習慣の改善に取り組 んだり、健康診断や健康づ くりに参加したりするなど、 自分の健康管理に日頃か ら気を付けている	289	97	9	73.2	3			70.1	2					
		地域福祉に関するボラン ティア活動等に参加して みたいと思う	120	255	20	30.4	15			29.2	15					
	心 ゆ と り 感 を ま ち に お か せ る	やりたいことや夢中にな れることがあり、生活が充 実している	259	120	16	65.6	6	65.5	1	55.4	6	56.2	2			
		地元の歴史、伝統文化、地 域行事に市民として誇りや 愛着を感じている	240	144	11	60.8	9			50.3	11					
		環境美化の取り組みが進 んでおり、まちがきれいで 気持ちがいい	277	104	14	70.1	5			62.8	5					
	大 竹 を 愛 す る 人 づ く り	大竹のよいところを知っ ている	181	181	33	45.8	13	61.4	3	42.3	13	53.9	3			→
		市外の人に大竹の悪口を 言われたら腹が立つ	243	134	18	61.5	7			51.3	10					
		あなたの暮らす地域が好 きだ	304	74	17	77.0	2			68.1	3					
問1全体		3,553	2,137	235	60.0%				55.7%							
問 2	市民自治	あなたの暮らす地域のこ とに普段から興味をもっ ている	224	135	36	56.7		48.6		54.0		47.0				
		自分もできれば何か地域 の役に立てるようなこと をやってみたい	160	189	46	40.5				39.9						

前年度との比較表（設問別幸せ感）①

問・項目	設問	H30		H29		前年度からの動き			
		「はい」の割合(%)	左の順位	「はい」の割合(%)	左の順位	「はい」の割合(%)	順位		
問1	生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.0	14	39.6	14	0.4	↗	→
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	51.4	11	50.0	12	1.4	↗	↗
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	70.9	4	68.1	3	2.8	↗	↘
	安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	88.1	1	88.9	1	△ 0.8	↘	→
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	50.6	12	53.7	8	△ 3.1	↘	↘
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	52.7	10	51.7	9	1.0	↗	↘
	安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	61.5	7	54.0	7	7.5	↗	→
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	73.2	3	70.1	2	3.1	↗	↘
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	30.4	15	29.2	15	1.2	↗	→
	心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	65.6	6	55.4	6	10.2	↗	→
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	60.8	9	50.3	11	10.5	↗	↗
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	70.1	5	62.8	5	7.3	↗	→
	大竹を愛する人づくり	大竹のよいところを知っている	45.8	13	42.3	13	3.5	↗	→
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	61.5	7	51.3	10	10.2	↗	↗
		あなたの暮らす地域が好きだ	77.0	2	68.1	3	8.9	↗	↗
問2 市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	56.7	/	54.0	/	2.7	↗	/	
	自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	40.5	/	39.9	/	0.6	↗	/	

前年度との比較表（設問別幸せ感）②



- 問1の各設問において、「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。
- 問2（市民自治）については、「はい」と答えた人の割合が高いほど、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっていると判断します。

アンケートは、この割合を用いて、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分について分析を行います。毎年度異なる人にご協力をいただいておりますので、経年比較は傾向としてとらえることになります。

(1)「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

問1設問全体で、「はい」と答えた人の割合は、60.0%となっています。

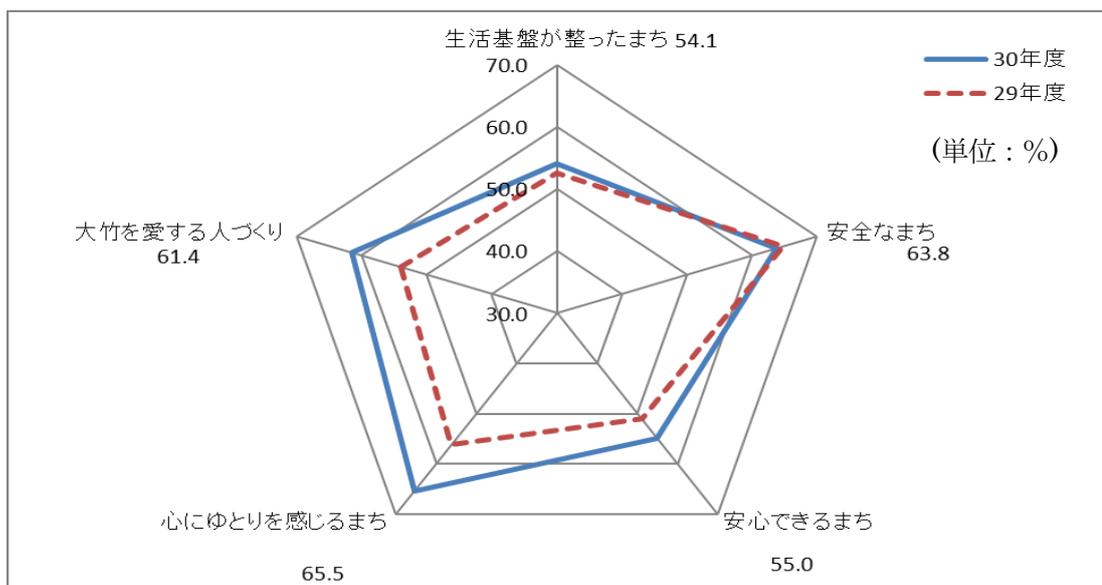
漠然とではありますが、6割の人が幸せを感じながら日々の生活を送っているようです。前年度より4.3ポイント上がる結果となりました。

①項目別順位

項目比較での幸せ感の順位は、次のとおりです。前年度と比べると3位以外は順位が変動しました。「安全なまち」以外の全項目でポイントが上がっており、中でも「心にゆとりを感じるまち」は、前年度に比べ9.3ポイント増加し、最も大きな伸びとなっています。

「安全なまち」は、1.0ポイント減少したものの、大きな変動ではないため、全体的に前年よりも幸せを感じている人が増えているものと思われます。

順位	項目	H30 割合（対前年比較）	H29 割合（順位）
1	心にゆとりを感じるまち	65.5%（↑9.3）	56.2%（2）
2	安全なまち	63.8%（↓1.0）	64.8%（1）
3	大竹を愛する人づくり	61.4%（↑7.5）	53.9%（3）
4	安心できるまち	55.0%（↑3.9）	51.1%（5）
5	生活基盤が整ったまち	54.1%（↑1.5）	52.6%（4）



②設問別順位

幸せ感の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

多少の順位の変動はありますが、上位3位及び下位3位の設問は8年間同じになりました。

順位 []内は前年度	設 問	割合(%) []内は前年度
1 [1]	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	88.1 [88.9]
2 [3]	あなたの暮らす地域が好きだ	77.0 [68.1]
3 [2]	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	73.2 [70.1]
.	.	.
.	.	.
13 [13]	大竹のよいところを知っている	45.8 [42.3]
14 [14]	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.0 [39.6]
15 [15]	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	30.4 [29.2]

③特徴

項目「生活基盤が整ったまち」（5位：54.1%）

「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位：40.0%）は、前年度と同じ順位ですが、0.4ポイント増加しています。

また、「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（4位：70.9%）は、前年度より順位を1つ下げたものの、2.8ポイント増加していることから幸せ感は増していると考えられます。

項目の順位としては最下位となりましたが、これは他の項目の幸せ感が上がったためと考えられます。項目の幸せ感は1.5ポイント増加し、幸せを感じる人の割合は増えています。

項目「安全なまち」（2位：63.8%）

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位：88.1%）は、前年度より0.8ポイント下がりましたが、2位とのポイント差は11.1ポイントあり、依然として他の設問に比べ幸せ感が高くなっています。

「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（12位：50.6%）は前年度の8位から4つ順位を下げました。幸せ感も前年度から3.1ポイント減少し、順位・幸せ感とも最も変動が大きくなっています。

前年度から幸せ感を下げたのは、この項目の設問だけです。結果、項目の幸せ感も1.0ポイント減少し、順位を1つ下げる結果となりました。

項目「安心できるまち」（4位：55.0%）

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（7位：61.5%）は、前年度と同順位でしたが、7.5ポイント増加し、6割を超えました。アンケート開始以来2番目に高い幸せ感になりました。

「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」（3位：73.2%）は、前年度と比べて順位が1つ下がりましたが、3.1ポイント増加しており、幸せを感じている人の割合は増えています。

「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」（15位：30.4%）は、前年度から1.2ポイント増加し3割を超えましたが、幸せ感は依然として最も低くなっています。

項目「心にゆとりを感じるまち」（1位：65.5%）

「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」（6位：65.6%）と「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」（5位：70.1%）は、前年度と同順位ですが、それぞれ10.2ポイント、7.3ポイント増加しました。

「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」（9位：60.8%）は、前年度の11位から順位を2つ上げました。また、幸せ感は10.5ポイント増加し、全体で一番の伸びとなっています。

この結果、項目全体としても一番の伸びとなり9.3ポイント増加しました。

項目「大竹を愛する人づくり」（3位：61.4%）

「大竹のよいところを知っている」（13位：45.8%）は、前年度より3.5ポイント増加したものの、前年度と同順位で依然として低い水準となっています。

「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」（7位：61.5%）は、前年度から10.2ポイント増加し、順位は3つ上がりました。

「あなたの暮らす地域が好きだ」（2位：77.0%）は、前年度から8.9ポイント増加し、順位は1つ上がりました。

この結果、項目の順位は3位と変わりありませんが、前年度と比べて幸せ感が7.5ポイント増加し、全項目の中で2番目の伸びとなりました。

④特徴（設問と問3の自由記述（P43～55）[設問に付随した心配に思っていること]から）

項目「生活基盤が整ったまち」

◆ 設問「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位）

15設問中14位で、幸せ感も40.0%と、平均値を20.0ポイントも下回っています。駅前や商店街など身近なところを参考に回答された人が多いようで、昔に比べて個人商店が減り近所で買い物をするところが少なくなってきたことなどを心配する意見が多く見られました。また、少子化や人口減少により、まちに元気がなくなってきたという意見もありました。

◆ 設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」（11位）

前年度より1つ順位を上げましたが、ポイントはほぼ横ばいとなりました。高齢で

免許を返納した等の理由により、車を運転できなくなった時が心配という意見が多くなっています。バスの増便やエリア・ルートの見直しなど、公共交通機関の充実について、様々な意見が出ています。また、渋滞の改善、乗り合いタクシー、小方駅の設置などを求める意見も寄せられました。

- ◆ 設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（4位）
順位は1つ下がりましたが、前年度から2.8ポイント増加し、7割を超える人が暮らしやすさを感じています。一方で、豪雨による道路等の冠水を防ぐ下水の整備、公園や道路の整備を要望する意見が寄せられました。

項目「安全なまち」

- ◆ 設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位）
前年度と比べると0.8ポイント減少していますが、88.1%という高い幸せ感で、常に上位を保っています。今年度は平均値を28.1ポイント上回り、2位との差も10ポイント以上開く結果となりました。しかし、これから起こるかもしれない大地震や近年増加している豪雨等が引き起こす災害への心配、イノシシやクマ等の野生動物の出現への不安は少なからずありました。
- ◆ 設問「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（12位）
この設問は、前年度と比べて順位が全項目の中で最も変動し、4つ下げました。しかし、幸せ感としては3.1ポイントの減少にとどまり、5割を超える人が防災意識、危機管理意識は高いと感じています。
また、不安を感じている約半数の人の意見として、災害が少ない「安全なまち」であるが故に、防災意識が低いという声や、消防団や自主防災組織等の活動について、よくわからないという意見がありました。
- ◆ 設問「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（10位）
幸せ感は52.7%と前年度とほぼ同じですが、順位は1つ下がりました。ただ、「いいえ」と答えた人の中にも、近年災害等が増えてきていることから、救命講習や防災訓練等に時間があれば参加したいという意見もありました。

項目「安心できるまち」

- ◆ 設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（7位）
前年度より7.5ポイント増加しましたが、順位に変動はありませんでした。6割以上の人が安心だと感じている一方で、高齢化や地域住民のつながりの希薄化により、困った時に相談できる人がいないという意見も多くありました。
- ◆ 設問「生活習慣病の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」（3位）
順位は前年度から1つ下がりましたが、3.1ポイント増加しました。健康については多くの人に関心を持ち、例年高水準を保っています。病院の充実や、参加型の健康増進イベントの開催を希望する声もありました。

◆ 設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」(15位)

前年度より1.2ポイント増加しましたが、最下位が続いています。そういった中で、災害ボランティアや、地域の清掃活動等に参加しているなどの積極的な回答もありました。また、高齢者の手伝いや話し相手、子どもの見守り活動、ボランティアならどんなことでもやってみたい等、色々な活動に興味があるという回答もありました。

項目「心にゆとりを感じるまち」

◆ 設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」(6位)

前年度と同順位ですが、幸せ感は10.2ポイント増加し、全体で2番目の伸びとなっています。

◆ 設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」(9位)

前年度から大きくポイントを上げており(10.5ポイント増)、一番の伸びとなっています。6割の人が誇りや愛着を感じている中、伝統文化や地域行事の担い手の減少を心配する声が見られます。

◆ 設問「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」(5位)

7割の人が「きれいなまち」に関して気持ちがいいと感じており、前年度から7.3ポイント増加しています。実際に花いっぱい運動に取り組んでいる人やごみ拾いなどの地域清掃行事等に参加している人が多いためか、たばこのポイ捨てなどのマナーの悪さに関する意見が多く出ています。

項目「大竹を愛する人づくり」

◆ 設問「大竹のよいところを知っている」(13位)

順位は13位ですが、豊かな自然や地域のつながりがあるなど、自分の暮らす地域の良いところが挙がっています。順位に変動はありませんが、前年度と比較して3.5ポイント増加しています。

◆ 設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(7位)

この設問と次の設問は、ストレートに感覚を尋ねています。前年度から10.2ポイント増加し、順位も3つ上がりました。6割を超える人がそう思うと回答しており、大竹市に対する愛着が感じられます。

◆ 設問「あなたの暮らす地域が好きだ」(2位)

前年度より8.9ポイント増加し、順位も1つ上がりました。約8割の人が好きだと回答している一方で、好きになれないところについても、たくさんの意見をいただいています。

(2) 市民自治（問2）について

わがまちプランに定める市民自治の理念は、半数程度の人に受け入れられているようで、「はい」と答えた人の割合は、前年度と同様の水準を維持しています。

「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」(56.7%)は、前年度より2.7ポイント増加し、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」(40.5%)は、前年度より0.6ポイント増加しています。

自由記述から、地域のためにやってみたいこととして、子ども食堂、地域の清掃、花や木を植える、子どもの登下校の見守りなど具体的なことから、ボランティアなど困っていることや自分にできることがあれば協力したいという意見がありました。

一方、やってみたいと思ってもできない理由として、仕事や育児・家族の介護等や、自身・家族の健康に関する問題などが多く見られました。

2 属性別分析

(1) 性別

①問1について

項目	設問	男性				女性			
		設問の「はい」		項目の「はい」		設問の「はい」		項目の「はい」	
		割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位
生活基盤 まちが整った	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	41.2	14			39.4	14		
	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	56.0	9	56.0	4	48.6	12	53.4	5
	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	70.9	4			72.1	5		
安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	91.2	1			86.5	1		
	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	54.9	10	65.4	1	47.6	13	63.5	2
	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	50.0	12			56.3	10		
安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	59.9	8			63.0	8		
	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	74.2	2	54.4	5	73.6	4	56.3	4
	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	29.1	15			32.2	15		
心にゆとりを感じ まちを感じる	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	62.1	7			69.7	6		
	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	54.4	11	61.0	2	66.8	7	70.4	1
	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	66.5	5			74.5	3		
大竹を愛する	大竹のよいところを知っている	41.8	13			50.5	11		
	市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	63.7	6	59.9	3	59.6	9	63.3	3
	あなたの暮らす地域が好きだ	74.2	2			79.8	2		
問1全体		59.3				61.3			

ア 全体的な傾向

問1全体では、男性 59.3%、女性 61.3%と性別による大きな差は見られません。

イ 項目・設問にみられる顕著な傾向・特徴

項目による幸せ感の幅は、男性の 11.0 ポイント（65.4%－54.4%）に比べ、女性は 17.0 ポイント（70.4%－53.4%）と大きく、幸せの感じ方がはっきりしているということが見て取れます。男女間で大きく幸せ感に差がついた項目は「心にゆとりを感じるまち」で、項目内全ての設問で女性の方が男性よりも高くなっています。特に設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は 12.4 ポイントの開きがあり、性別によって幸せの感じ方の違いがはっきり出ています。

項目「安全なまち」の設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、男女とも1位でしたが、男性のポイントが非常に高く、9割を超える人が「安全なまち」であると感じているようです。

また、項目「安心できるまち」の設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、男女とも最下位でしたが、特に男性のポイントが低く、1つ上の順位と 10 ポイント以上の差が出ています。

②問2について

問2の設問では、前年度と逆の結果になり、いずれも女性のポイントが男性より高くなっています。設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は、男性が4割以下で、女性と7ポイントの差が生じています。

設問	男性 (%)	女性 (%)
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	53.8 (59.1)	59.6 (49.1)
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	36.8 (43.9)	43.8 (36.6)

※()内は前年度

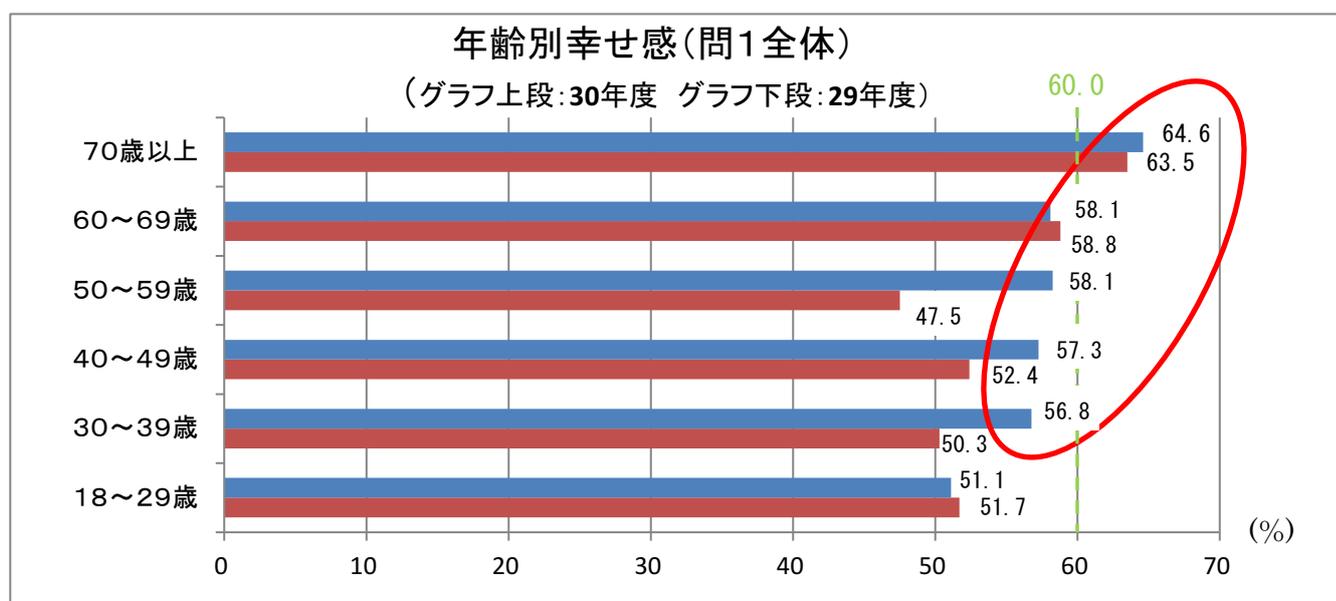
(2) 年齢

①問1について

ア 全体的な傾向

どの年齢層においても半数以上の方が幸せを感じています。

18～29歳の年齢層の幸せ感が50%程度で最も低く、年齢が上がるにつれて幸せ感が増加する傾向にあります。特に50～59歳の年齢層は、前年度より10.6ポイント増え、幸せ感が最も伸びた年齢層になっています。



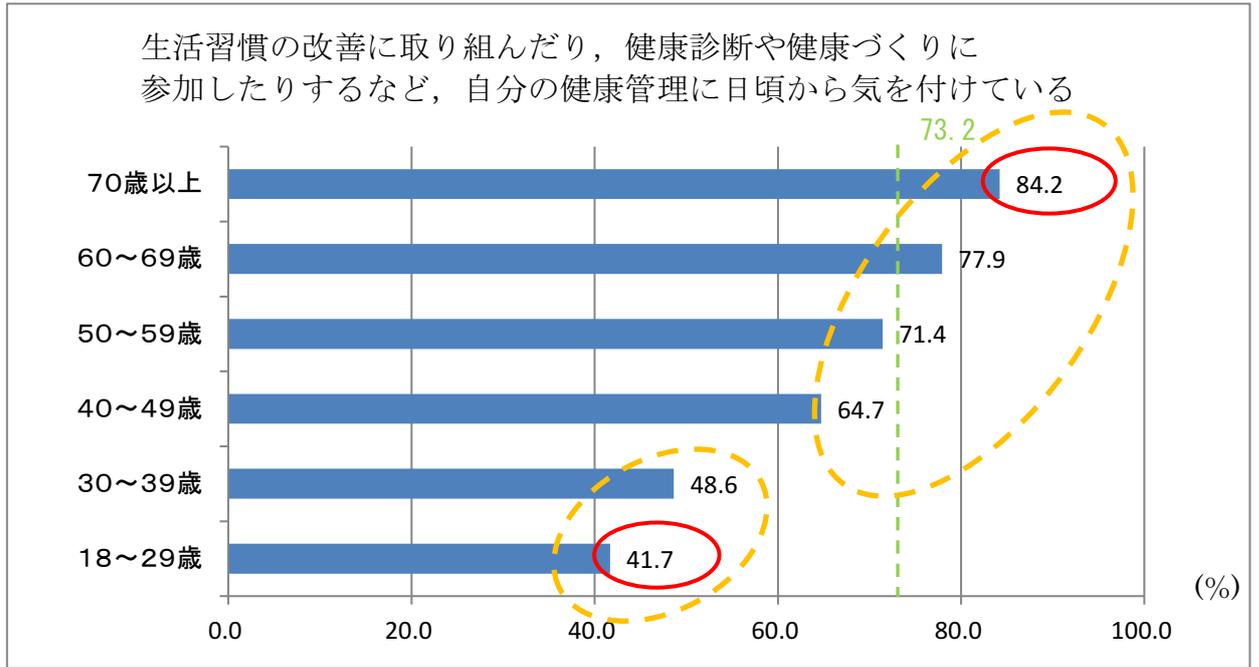
イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

全項目において、70歳以上の幸せ感は上位となっています。反対に18～29歳は、3つの項目で最下位となっています。特に「安心できるまち」の幸せ感が低く、3割にとどまりました。また、50～59歳は、1位や最下位がなく、4つの項目で3位となりました。

単位：% (順位)

年齢	生活基盤が整ったまち	安全なまち	安心できるまち	心にゆとりを感じるまち	大竹を愛する人づくり
70歳以上	59.1 (1)	64.5 (2)	62.4 (1)	73.3 (1)	63.7 (2)
60～69歳	48.9 (6)	66.7 (1)	55.8 (2)	59.7 (4)	59.3 (5)
50～59歳	50.3 (5)	63.9 (3)	53.1 (3)	61.2 (3)	61.9 (3)
40～49歳	56.7 (2)	63.4 (4)	47.1 (5)	57.8 (5)	64.7 (1)
30～39歳	53.2 (3)	63.1 (5)	48.6 (4)	64.0 (2)	55.0 (6)
18～29歳	51.4 (4)	59.7 (6)	30.6 (6)	54.2 (6)	59.7 (4)

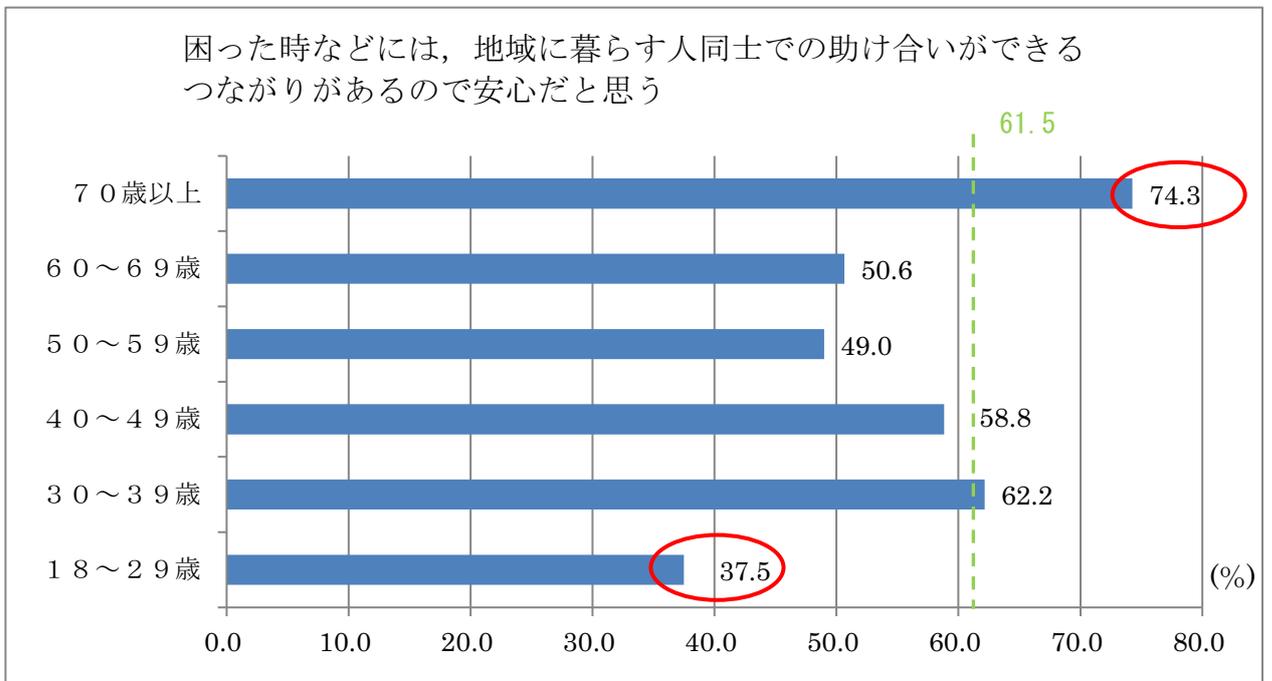
年齢層別で最も幸せ感に差が出た設問は、「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」です。この設問は、70歳以上の84.2%に対し、18～29歳の年齢層では41.7%と、2倍以上もの差が生じています。また、40歳を境に、健康に対する認識が大きく変わっており、年齢が上がるにつれて健康に気を付ける人が増えています。



設問「困った時などには，地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」でも，70歳以上が首位であるのに対し，18～29歳は最下位になっています。

全体での幸せ感のポイントは61.5%で，70歳以上の幸せ感が際立っています。

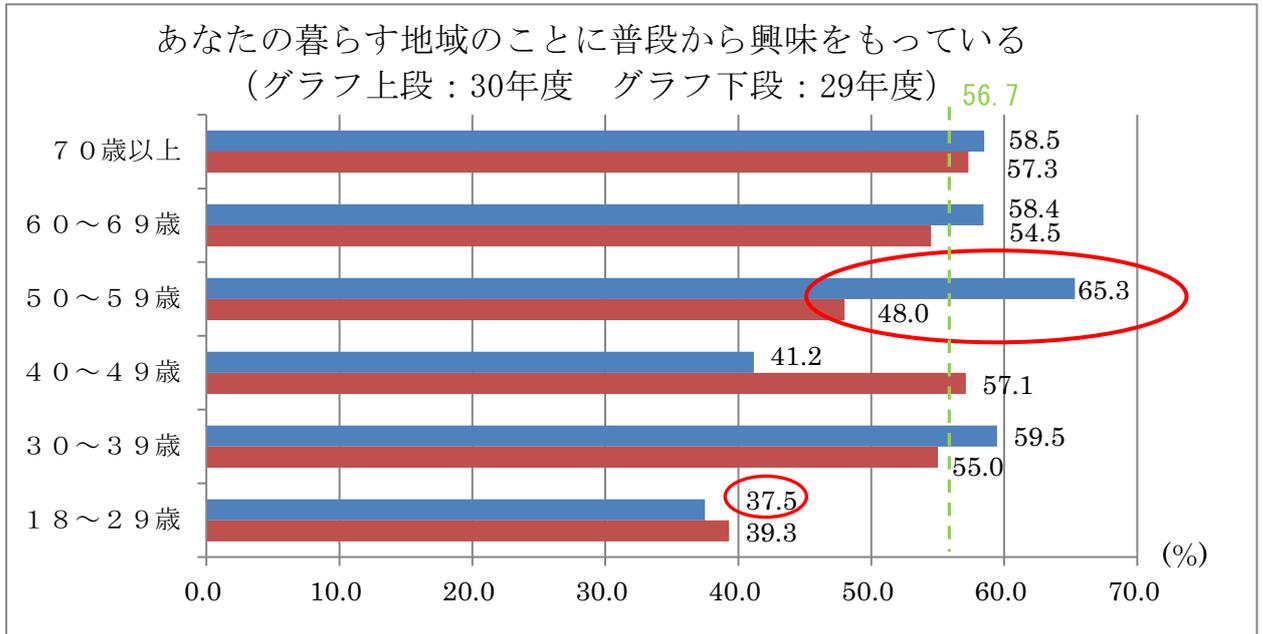
この設問も，70歳以上の74.3%に対し，18～29歳は37.5%と全設問で2番目となる36.8ポイントの差が生じています。



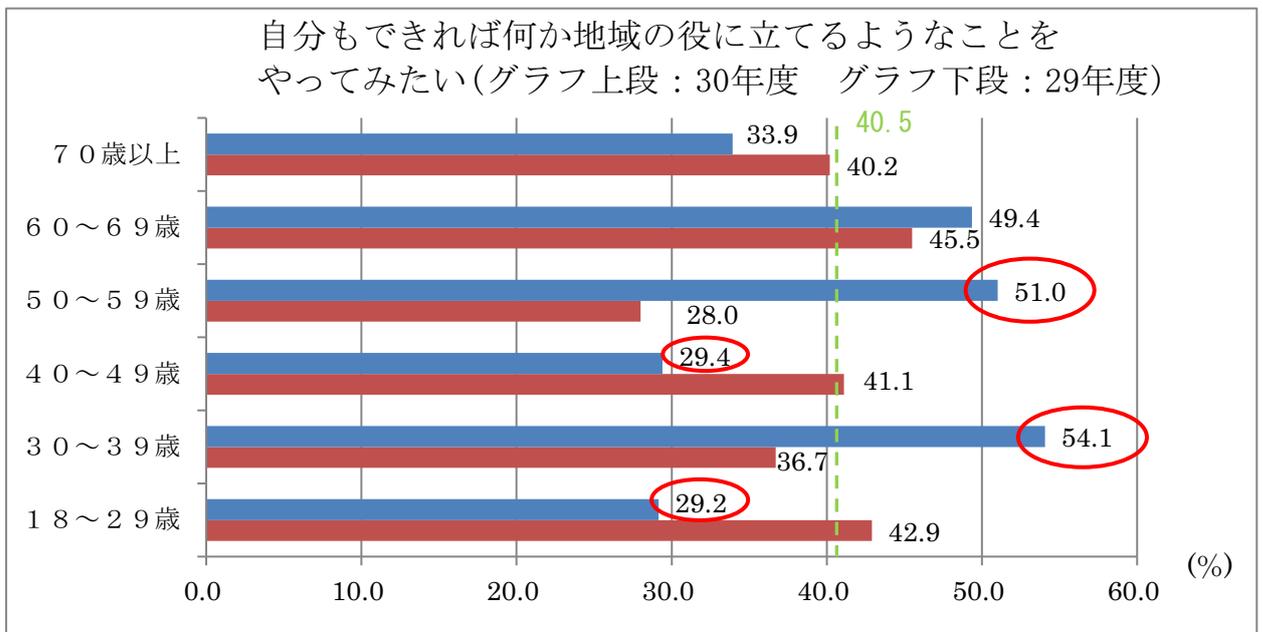
このため，これら2つの設問を含む項目「安心できるまち」は，全項目の中で年齢層による差が最も大きくなっています。

②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」では、18～29歳が他の年齢層より低く、4割に満たない状況です。一方で、50～59歳は、前年度より17.3ポイント増加して6割を超え、全年齢層で一番の伸びを見せ、1位となっています。



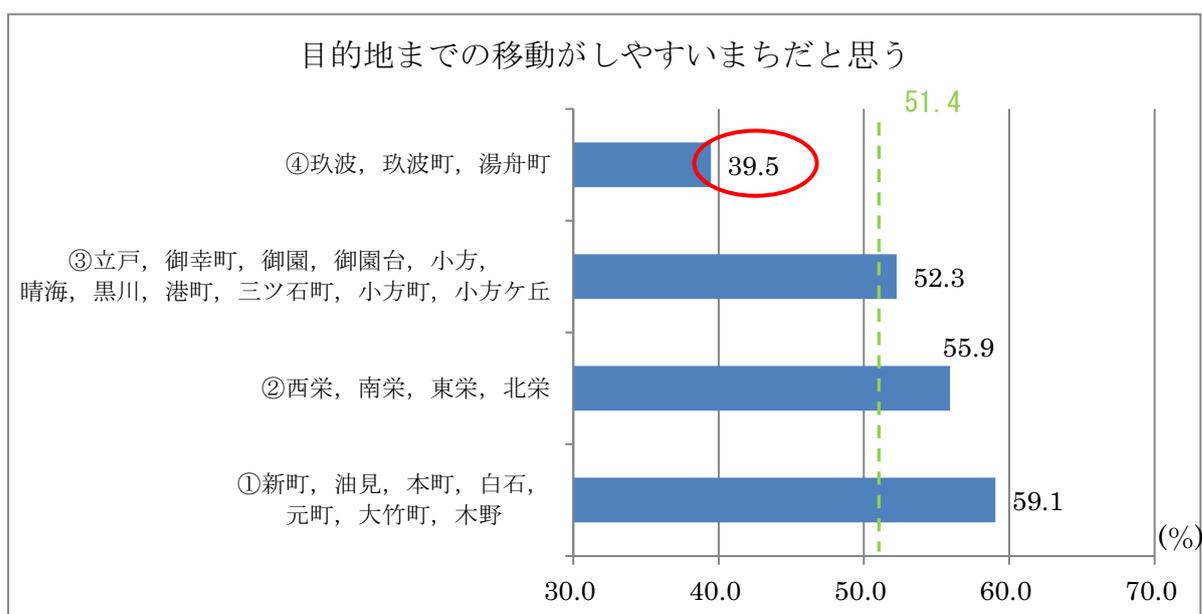
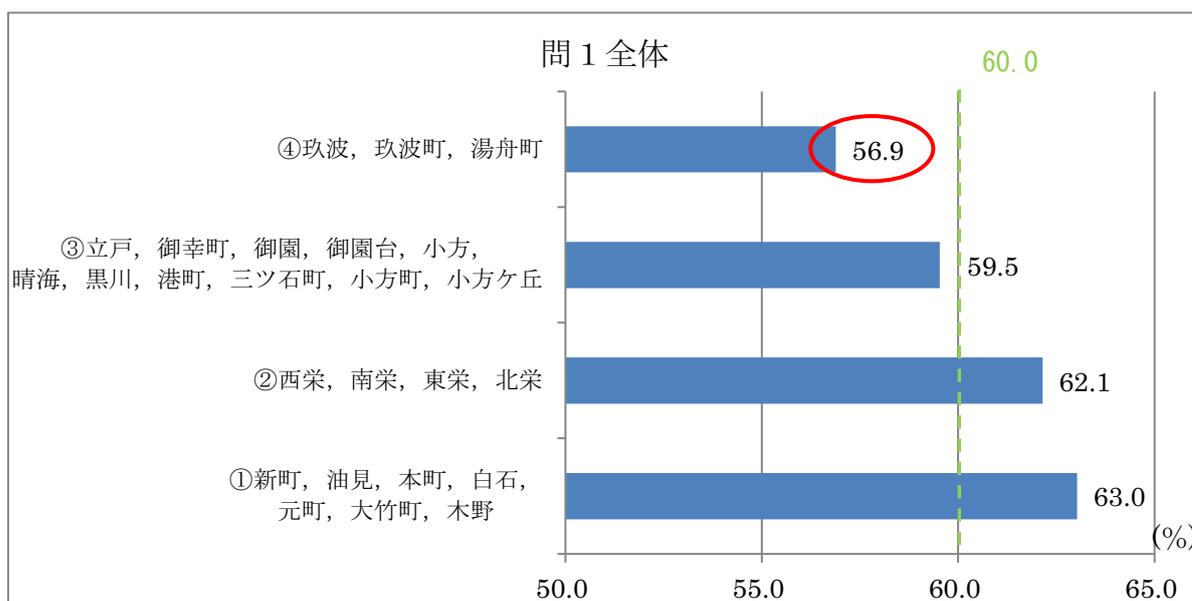
設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」では、18～29歳と40～49歳は、前年度より10ポイント以上も減少し、3割を切りました。一方、30～39歳と50～59歳は、ポイントが大きく増え、いずれも5割を超えました。



(3) 住所

回答数に大きな差があるため、問1、問2いずれも住所の違いによる特徴を分析できません。回答数50以上の4つの地域（【①新町，油見，本町，白石，元町，大竹町，木野】・【②西栄，南栄，東栄，北栄】・【③立戸，御幸町，御園，御園台，小方，晴海，黒川，港町，三ツ石町，小方町，小方ヶ丘】・【④玖波，玖波町，湯舟町】）で比較してみると、問1全体の幸せ感はいずれも60%前後となっていますが、④の地域が他の地域に比べやや低くなっています。

特に設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」では、④の地域は4割を下回り、幸せ感の平均値51.4ポイントを4つの地域の中で唯一下回り、①の地域とは、19.6ポイントの差があります。

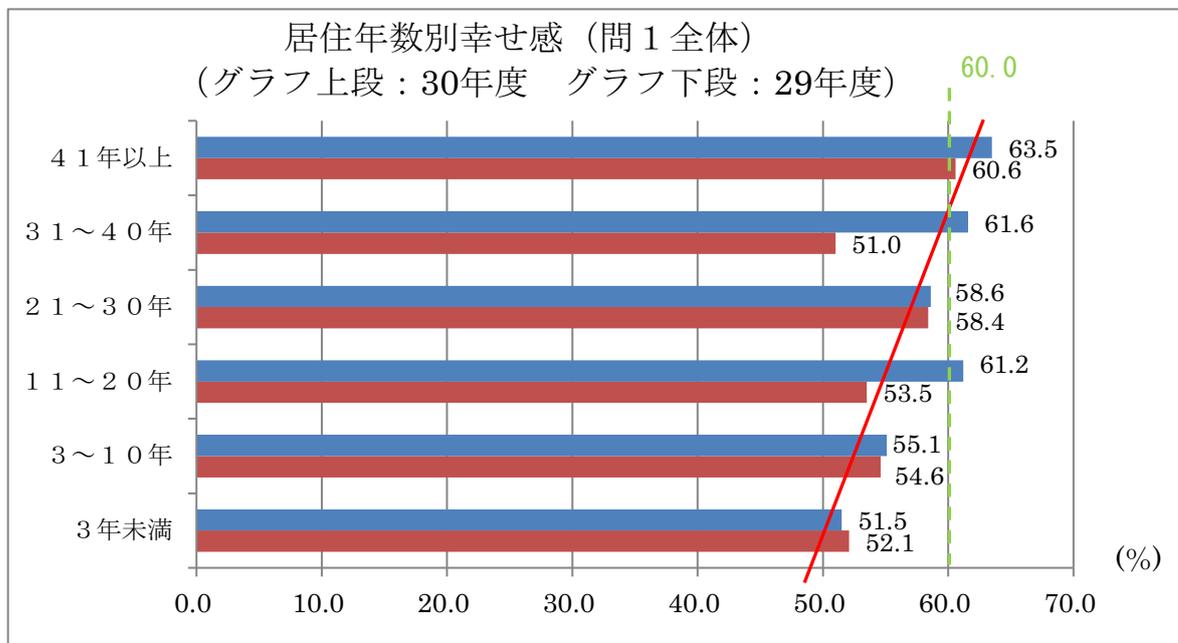


(4) 居住年数

①問1について

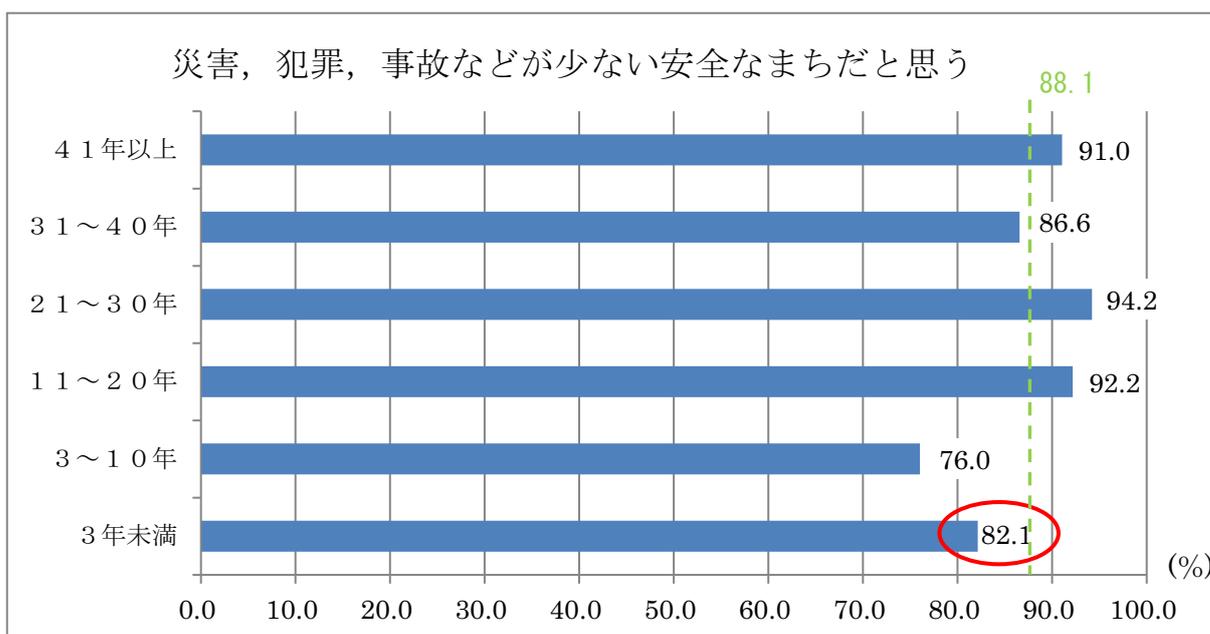
ア 全体的な傾向

前年度と比較して居住年数が3年未満の層で幸せ感が0.6ポイント減少していますが、それ以外の層ではポイントが上がっています。年数によってばらつきがあるものの、居住年数が長くなるにつれて、幸せ感が高くなる傾向にあります。

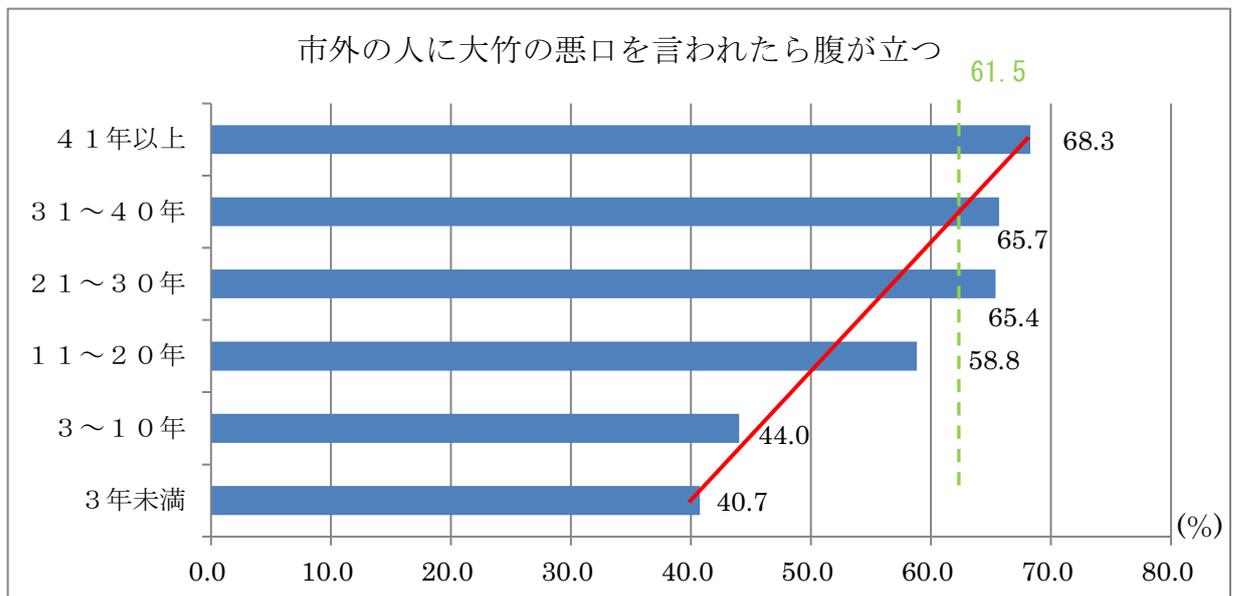
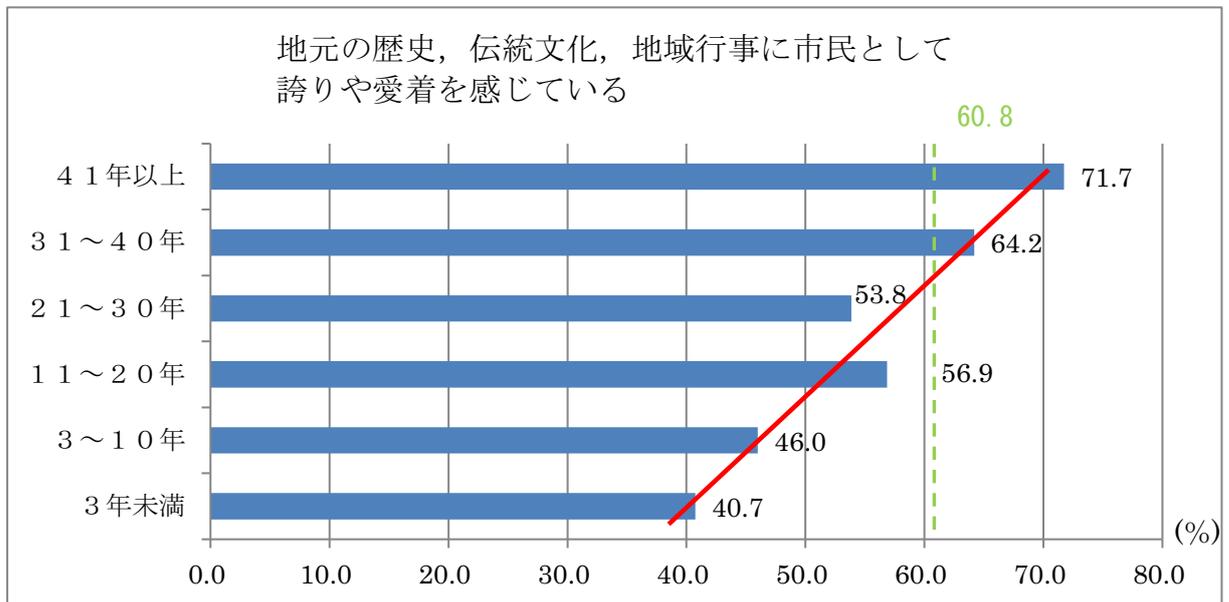


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、7割以上の方が「はい」と答えています。なかでも、他市町から転入してきて間もない人は、8割以上の方が「はい」と答えていることから、「安全なまち」であると実感していることが伺えます。

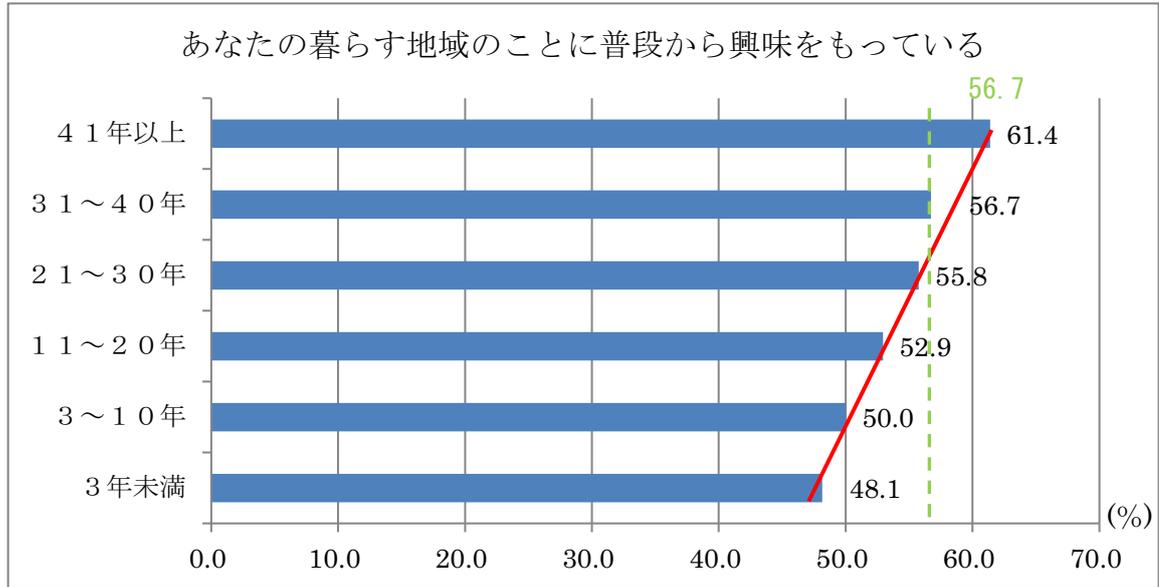


設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は、居住年数が増えていくにつれて、「はい」と回答している人が多くなる傾向が見られます。また、設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」も同様の傾向となっており、これらの設問から居住年数が増えるにつれて、大竹により愛着を感じているものと伺えます。



②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」は、問1と同様で、居住年数が増えるにつれて「はい」と回答をしている人が増えています。



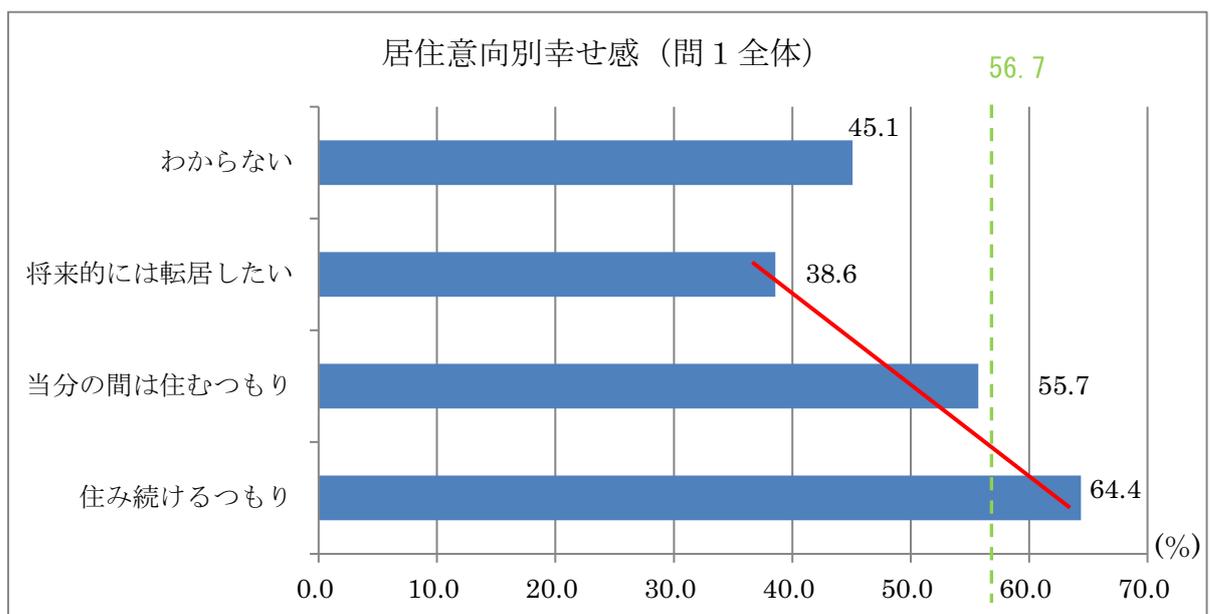
(5) 今後の居留意向

選択肢のうち、「近いうちに転居するつもり」と回答した人は、4人と人数が少なく、傾向として判断できないため掲載していません。

①問1について

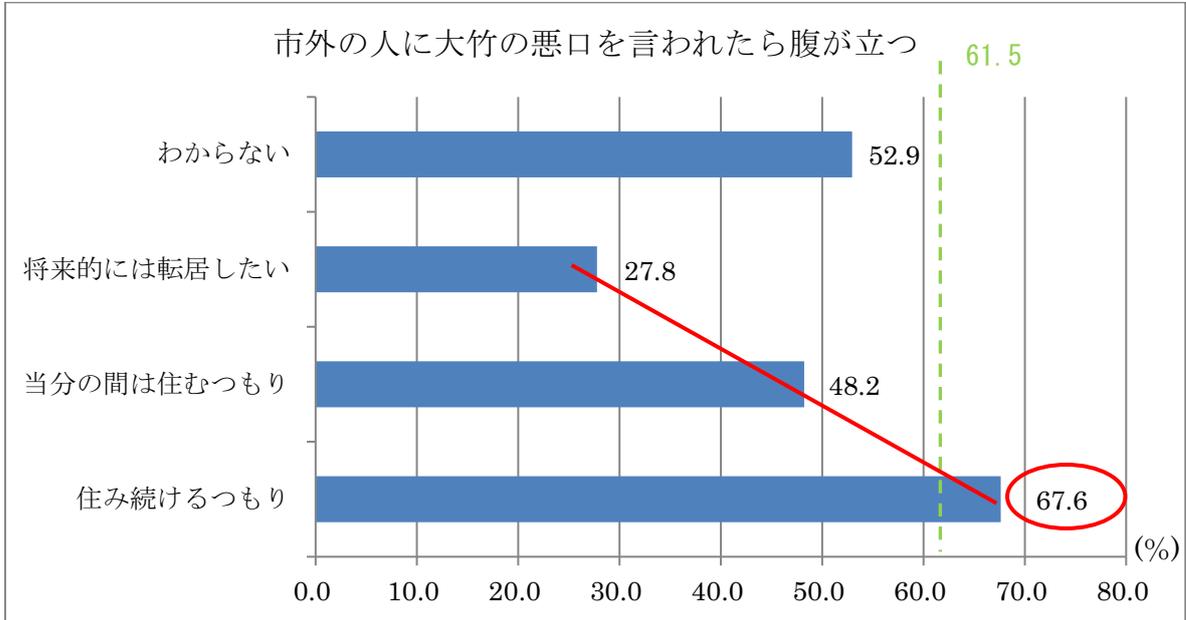
ア 全体的な傾向

「わからない」を除くと、「将来的には転居したい」 < 「当分の間は住むつもり」 < 「住み続けるつもり」の順で幸せ感が高くなっており、長く住み続ける意向を持つ人ほど、幸せを感じているようです。また、「わからない」の人も、半数近くが幸せを感じています。

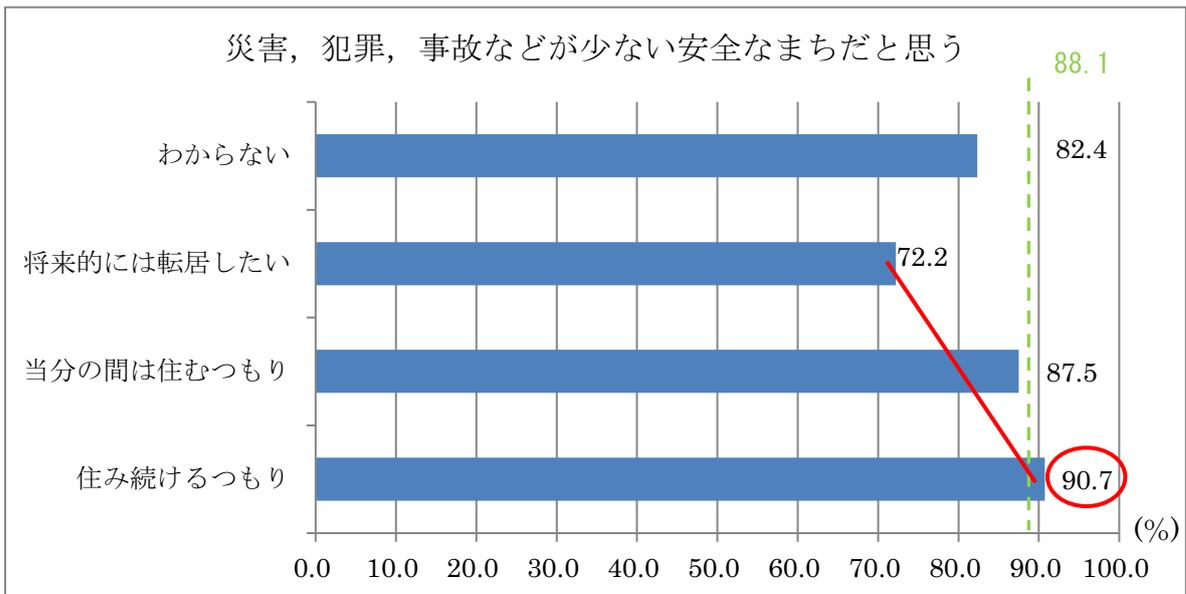


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

多くの項目において全体的な傾向と類似しています。特に設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」では、「住み続けるつもり」の人の幸せ感は「将来的には転居したい」と考えている人より約40ポイント高くなっています。長く住む意思がある人は、地域への愛着が高い傾向にあります。

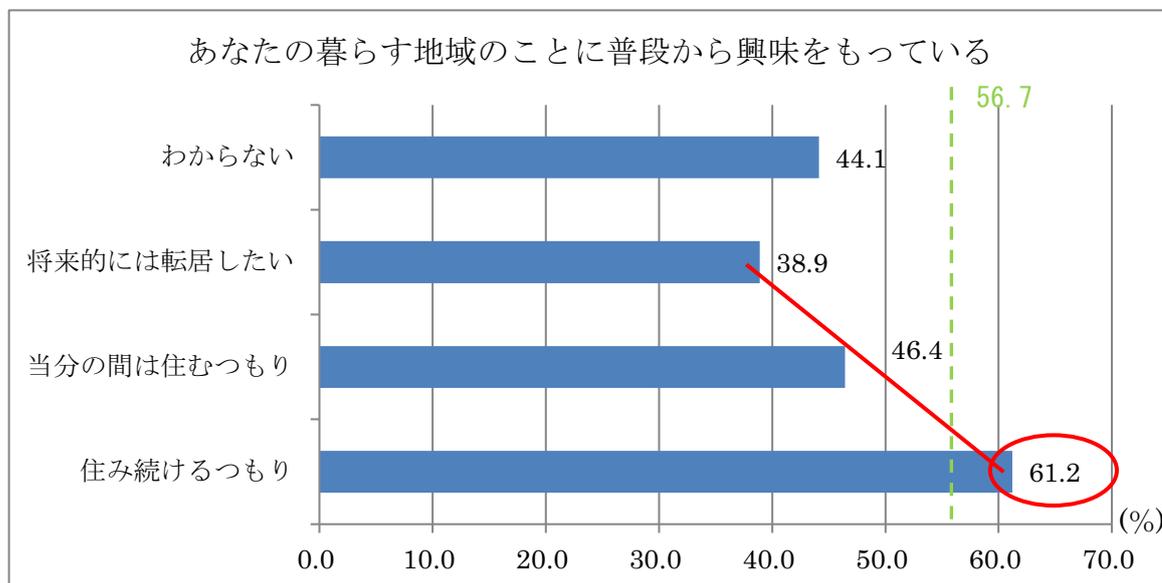


「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、9割近くの人が「はい」と回答しており、「将来的には転居したい」と考えている人も、7割以上の方が「安全なまち」だと思っていることがわかります。「住み続けるつもり」の人の割合は90.7%で、全設問で最も高い数値となっています。



②問2について

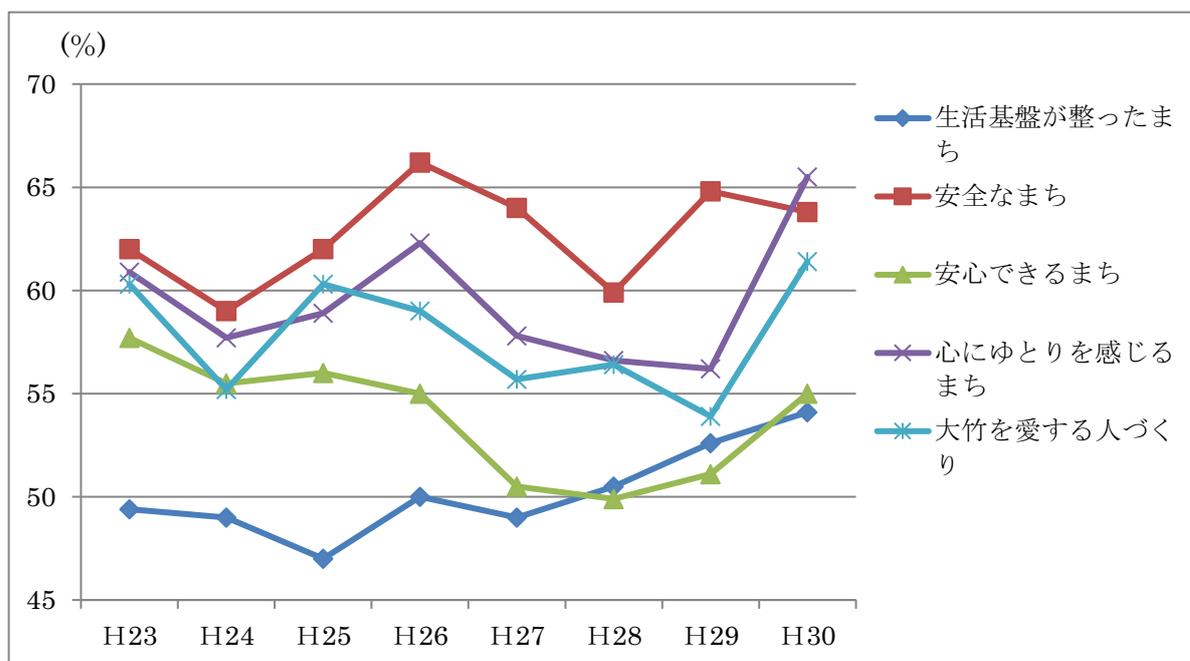
「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」の割合は、全体的な傾向と同様に今後も住み続ける意向が強いほど高くなっています。特に「住み続けるつもり」と回答した人が他よりも突出した数値となっており、地域に対する関心が高いことを表しています。



3 「わがまちプラン」中の数値の動き（過去8年間）（H23-H30）

（1）項目毎の推移

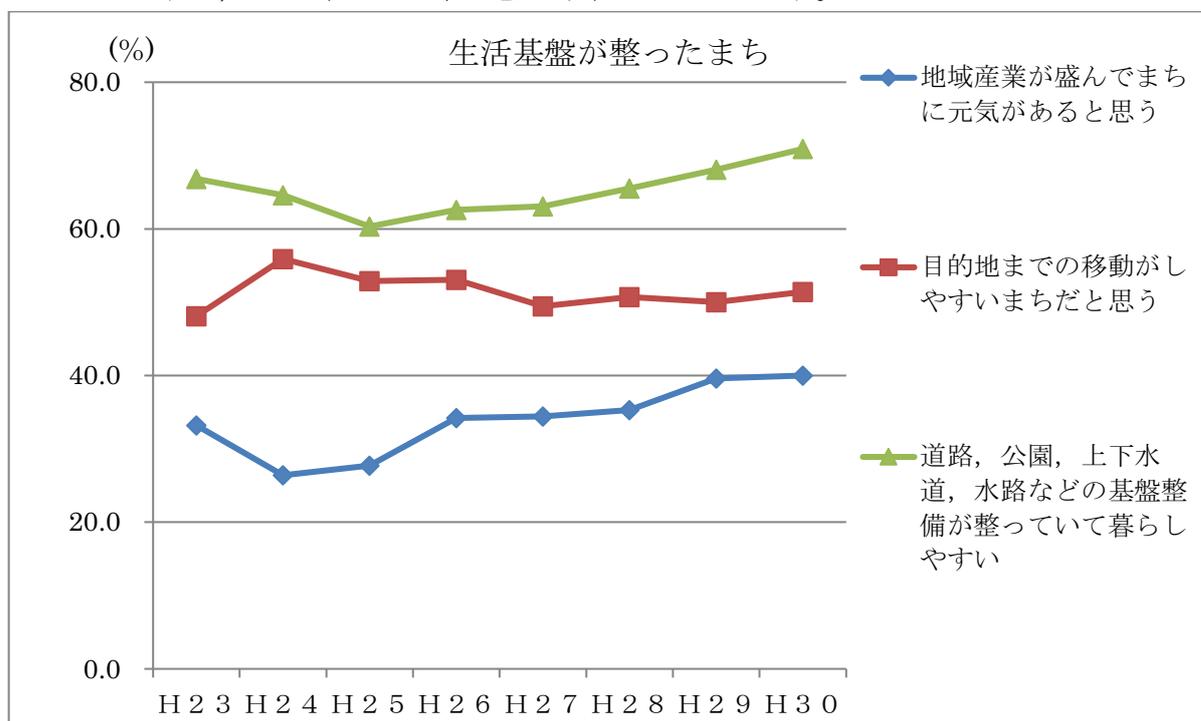
項目による差はありますが、全体で幸せを感じている人の割合が上がっている傾向にあります。



(2) 設問毎の推移

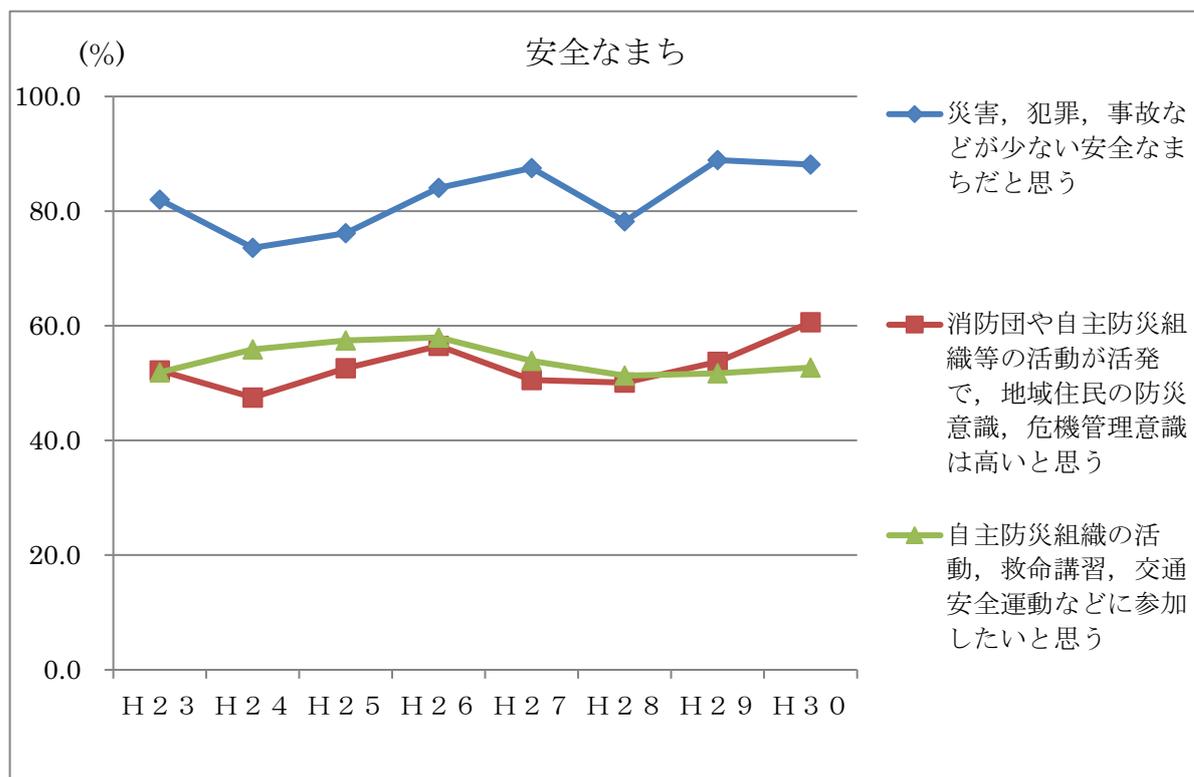
①生活基盤が整ったまち

「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は常に上位にあります。H25年からは幸せ感が毎年上がっています。



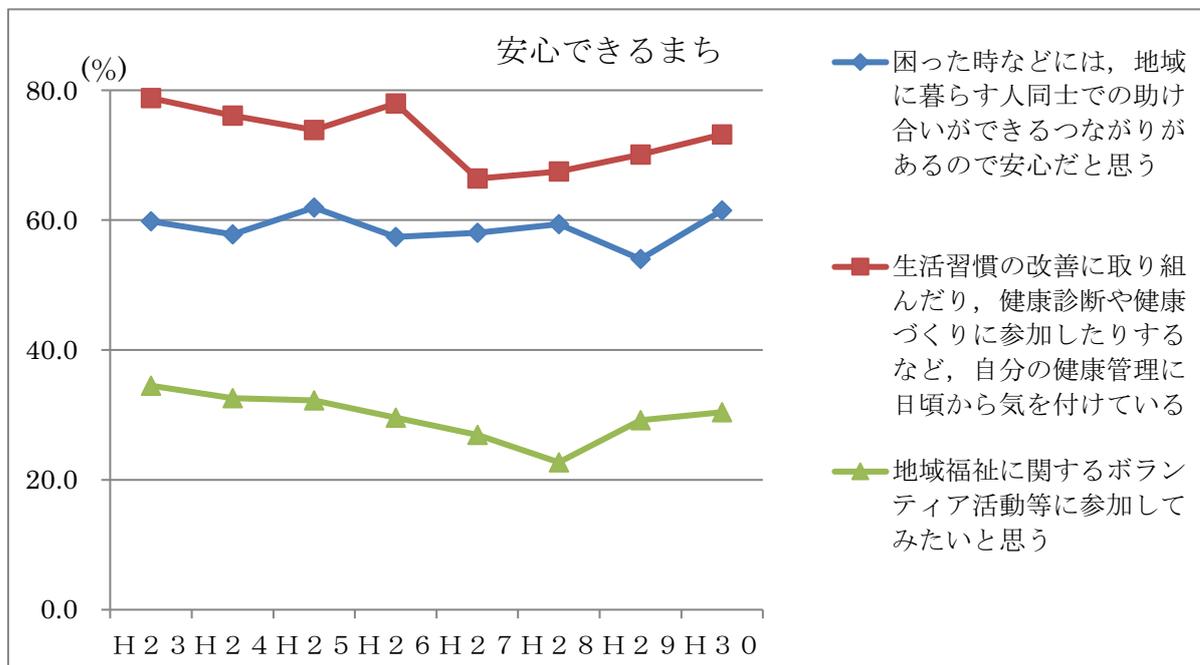
②安全なまち

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、その年に起きた事故や事件に左右されることもありますが、安定して高位をキープしています。



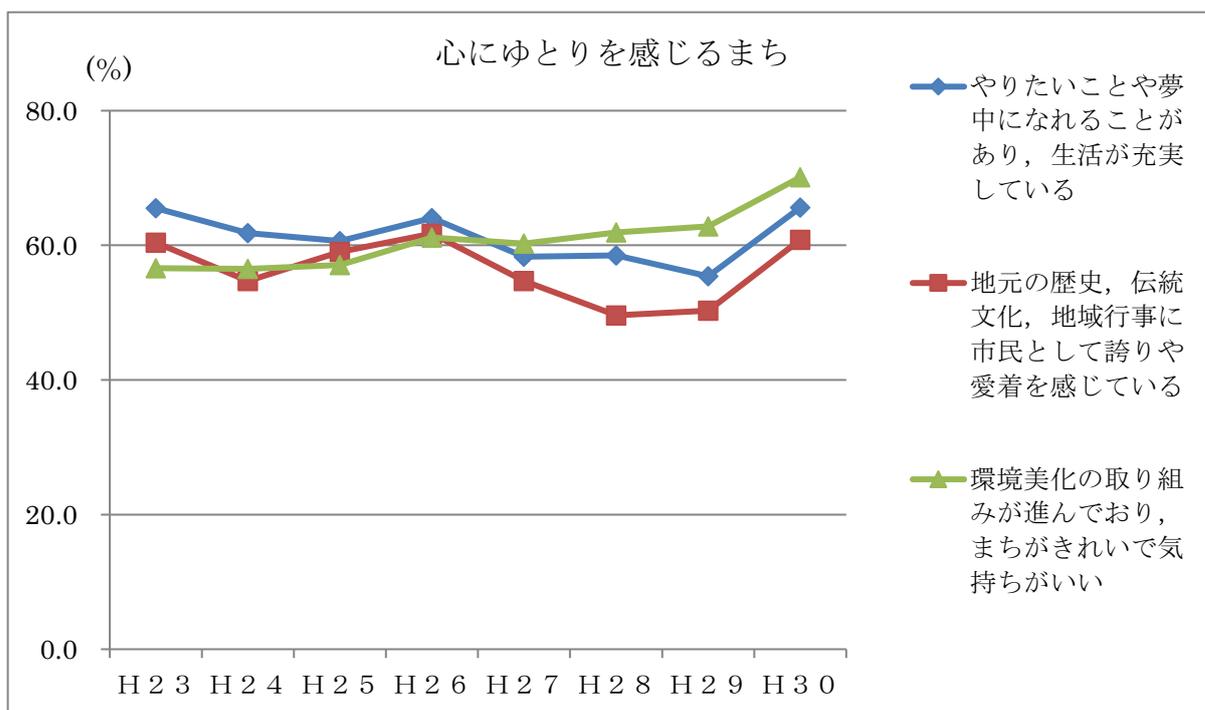
③安心できるまち

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」と「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、相関関係にありそうな設問ですが、常に3割程度の開きがあります。平時からのつながりを強化することで、いざという時に助け合える仕組みの構築に取り組んでいます。



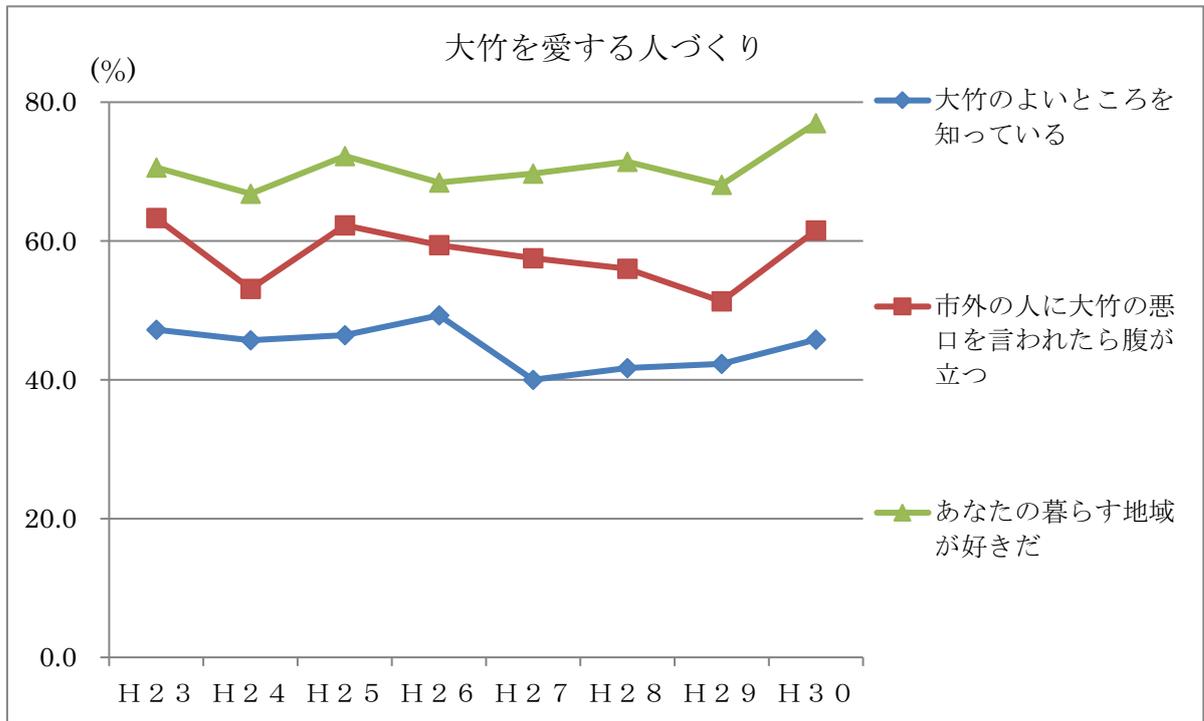
④心にゆとりを感じるまち

設問間にあまり差が見られず、全ての設問において上昇傾向にあります。特に設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」と「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、調査開始以来最も高い値になっています。



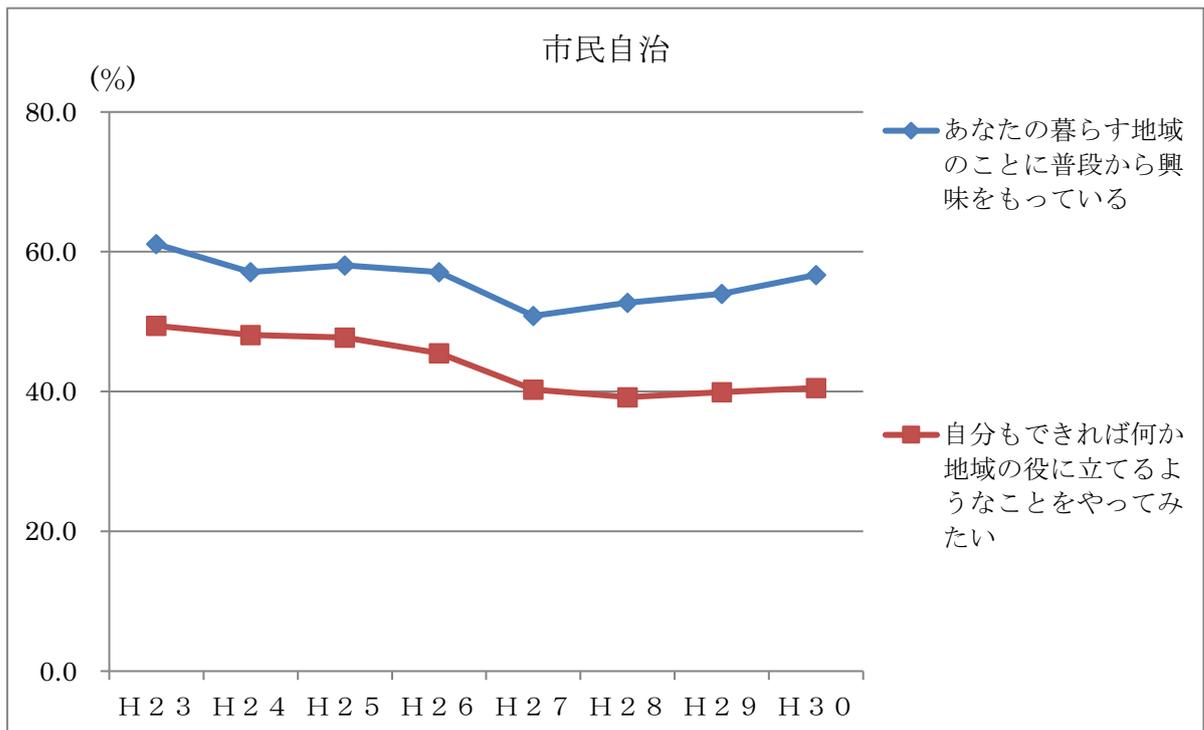
⑤大竹を愛する人づくり

「あなたの暮らす地域が好きだ」が高位をキープしており、市が行う施策において、協力が得やすい状況といえます。一方、大竹の良いところを知らない人も多く、情報発信力に課題があるともいえます。



⑥市民自治

興味をもつこと、やってみたいと思うことの間には、常に1割以上の開きがあり、年々大きくなる傾向にあります。



B 「モニター回答分」について

1 総括（全体）分析

単純集計結果（項目・設問別）

問・項目	設問	回答数及び回答割合						
		そう思う	少し そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
問 1	生活基盤 が整った まち	地域産業が盛んでまちに元気があると思 う	17 12.8%	47 35.3%	27 20.3%	33 24.8%	7 5.3%	2 1.5%
		目的地までの移動がしやすいまちだと思 う	29 21.8%	46 34.6%	19 14.3%	23 17.3%	14 10.5%	2 1.5%
		道路、公園、上下水道、水路などの基 盤整備が整っていて暮らしやすい	46 34.6%	50 37.6%	16 12.0%	15 11.3%	5 3.8%	1 0.8%
		計	92 23.1%	143 35.8%	62 15.5%	71 17.8%	26 6.5%	5 1.3%
	安 全 ま ち	災害、犯罪、事故などが少ない安全な まちだと思う	59 44.4%	52 39.1%	14 10.5%	7 5.3%	0 0.0%	1 0.8%
		消防団や自主防災組織等の活動が活 発で、地域住民の防災意識、危機管理 意識は高いと思う	30 22.6%	46 34.6%	34 25.6%	19 14.3%	3 2.3%	1 0.8%
		自主防災組織の活動、救命講習、交通 安全運動などに参加したいと思う	35 26.3%	39 29.3%	30 22.6%	22 16.5%	5 3.8%	2 1.5%
		計	124 31.1%	137 34.3%	78 19.5%	48 12.0%	8 2.0%	4 1.0%
	安 心 で き る ま ち	困った時などには、地域に暮らす人同 士での助け合いができるつながりがあ るので安心だと思う	37 27.8%	53 39.8%	22 16.5%	17 12.8%	4 3.0%	0 0.0%
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康 診断や健康づくりに参加したりするな ど、自分の健康管理に日頃から気を付 けている	58 43.6%	54 40.6%	15 11.3%	3 2.3%	2 1.5%	1 0.8%
		地域福祉に関するボランティア活動等 に参加してみたいと思う	37 27.8%	43 32.3%	29 21.8%	17 12.8%	6 4.5%	1 0.8%
		計	132 33.1%	150 37.6%	66 16.5%	37 9.3%	12 3.0%	2 0.5%
	心 に ゆ と り を 感 じ る ま ち	やりたいことや夢中能れることがあ り、生活が充実している	40 30.1%	53 39.8%	26 19.5%	11 8.3%	2 1.5%	1 0.8%
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市 民として誇りや愛着を感じている	39 29.3%	49 36.8%	31 23.3%	10 7.5%	3 2.3%	1 0.8%
		環境美化の取り組みが進んでおり、ま ちがきれいで気持ちがいい	30 22.6%	61 45.9%	23 17.3%	14 10.5%	4 3.0%	1 0.8%
		計	109 27.3%	163 40.9%	80 20.1%	35 8.8%	9 2.3%	3 0.8%
	大 竹 を 愛 す る 人 づ くり	大竹のよいところを知っている	40 30.1%	57 42.9%	24 18.0%	9 6.8%	1 0.8%	2 1.5%
		市外の人に大竹の悪口を言われたら 腹が立つ	54 40.6%	49 36.8%	18 13.5%	6 4.5%	6 4.5%	0 0.0%
		あなたの暮らす地域が好きだ	66 49.6%	45 33.8%	16 12.0%	3 2.3%	3 2.3%	0 0.0%
		計	160 40.1%	151 37.8%	58 14.5%	18 4.5%	10 2.5%	2 0.5%
問 2	市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から 興味をもっている	54 40.6%	53 39.8%	17 12.8%	8 6.0%	1 0.8%	0 0.0%
		自分もできれば何か地域の役に立てる ようなことをやってみたい	46 34.6%	50 37.6%	25 18.8%	7 5.3%	4 3.0%	1 0.8%
		計	100 37.6%	103 38.7%	42 15.8%	15 5.6%	5 1.9%	1 0.4%

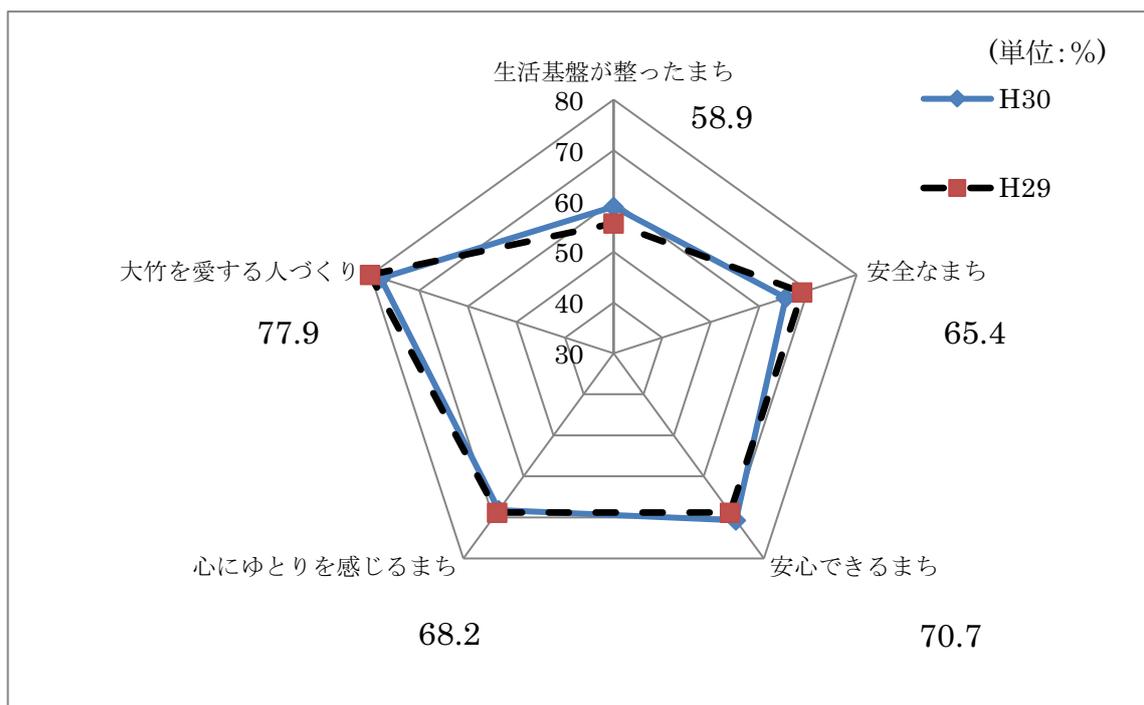
- 問1の各設問において、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」と答えた人の割合を算出し、全体に占める肯定的な回答（「そう思う」と「少し思う」の和）の割合の値の毎年の動きにより、市民の幸せ感が高まっているかどうか確認します。
- 問2（市民自治）については、問1と同様の方法により、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっているかどうか確認します。

(1) 「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

モニターには、前年度と比べて良くなっているのかどうかを伺っています。

問1全体の肯定的な回答（「そう思う」、「少し思う」）の割合は、前年度と同様に6割を超え、68.2%でした。この結果から、問1全体としては、肯定的な意見が多いと考えられます。特に「安心できるまち」と「大竹を愛する人づくり」の項目では、7割を超えるモニターが肯定的な回答をしています。

項目	肯定的回答の割合 (%)	
	H30	H29
生活基盤が整ったまち	58.9	55.6
安全なまち	65.4	68.8
安心できるまち	70.7	68.8
心にゆとりを感じるまち	68.2	68.8
大竹を愛する人づくり	77.9	80.1
問1全体	68.2	68.4

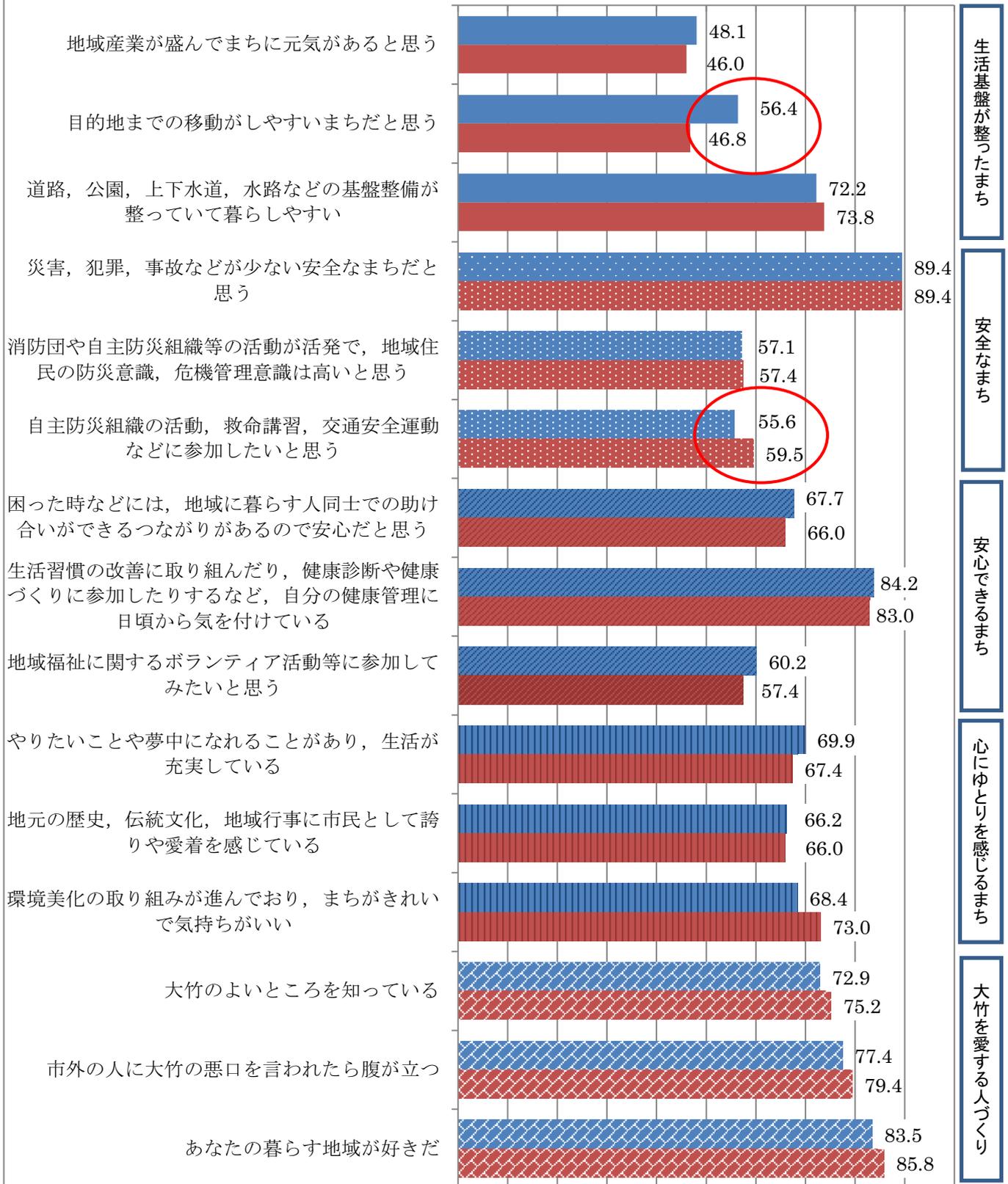


1年前と比べてどうかについて肯定的意見の割合

(グラフ上段：30年度 グラフ下段：29年度)

(%)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100



15 設問中 7 設問で、前年度より肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合が増加しています。特に、「目的地までの移動がしやすいまちだと思ふ」は、前年度より 9.6 ポイント増えています。前年度よりポイントを下げたのは 7 設問で、最も減少したのは、「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思ふ」の 3.9 ポイントです。

（2）市民自治（問 2）について

問 2 全体での肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合は、前年度より 2.4 ポイント減少していますが、高い水準を維持しています。

このアンケートのモニターに応募していただいた皆さんは、普段から、まちづくりに興味をもち、自分が暮らす地域をよいまちにするために、自らが考え行動しようとする市民自治の理念が根付いている人が多いようです。

設 問	肯定的回答の割合（％）	
	H30	H29
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	80.5	83.0
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	72.2	74.5
問 2 全体	76.3	78.7

（3）一般の回答との比較

一般とモニターでは、尋ね方が違うので、単純に比較することは難しいですが、「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ」、「大竹のよいところを知っている」が一般の回答に比べて 27 ポイント以上高くなっています。

それ以外の幸せ感の傾向は、ほぼ同様ですが、幸せ感は一般と比べてモニターは高い水準となっています。